第１４回経済常任委員会会議記録

開閉会日時	平成２７年２月１７日（火曜）　９時３０分　開会			
	休憩　10:35-10:45　11:00-11:02　11:02-11:10　11:23-11:24			
	11:24-13:15　13:32-13:40　14:06-14:07			
	１４時１３分　閉会			
会議場所	役場３階　第１委員会室			
出席委員氏名	委員長　常通　直人	委　員　正村紀美子	議　長　広瀬　重雄	
	副委員長　齋藤　幸子			
	委　員　小椋　孝雄			
	委　員　柴田　正博			
欠席委員氏名				

会議に出席した説明員	農林課	手島　旭	水道課長	白木　雅博
	課長補佐	稲垣　輝幸	課長補佐	西川　一浩
	農林係長	池野　由一	課長補佐	清水　あけみ
	農産係長	我妻　修一	建設都市整備課	髙橋　将英
	土地改良係長	髙橋　悟	課長補佐	佐藤　季之
	商工観光課	日下　勝祐	公園緑地係長	村上　大助
	観光物産係長	林　宏明	管理係長	谷口　利幸
	商工振興係	池田　哲	建設係	佐々木　浩二
			建設係	玉村　大輔

事務局職員		事務局次長　剣持和裕	書記　大石真澄

『会議に付した事件と会議結果など』

１　開　会

委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明。

２　議　件

（１）　調査事項

ア　新年度主要事業について

①　農林課　資料１

・担当課から説明後、質疑を行う。

「担い手自主的活動支援事業」

・正村委員：農業体験などの食育を推進する項目があるが、食育の推進には教育委員会との連携が必要では。

・手島課長：連携しながら進めているが、授業の一環として取り入れるのは難しいと考える。

・正村委員：教委との連携には、食育推進計画が大切と考えるが、進捗状況は。
・手島課長：各団体の事業実施状況は把握している。町の役割を考慮しながら、総計後期計画の終期である H29 年度までの重点事業を整理する内容で進めている。

「町営牧場の取組」
・柴田委員：受入頭数が減少傾向と聞いている。もっと活用してもらえるよう PR すべき。
・手島課長：アンケートからは、若齢牛の増体、受胎率の向上の要望が多いことから、今回の対応とした。農家の要望に応えられるよう改善していきたい。

「多面的機能支払い」
・正村委員：面積拡大の要望に応じ、予算増との記載があるが、要望があれば上限なく拡大していくのか。
・手島課長：基準を満たしていれば拡大要望に応えないわけにはいかない。組織により、拡大志向、縮小志向など様々であり、右肩上がりに増加していくというものではないと考える。

②商工観光課　資料２
・担当課から説明後、質疑を行う。

「新嵐山スカイパーク利用促進事業」
・常通委員長：経営診断の結果は。
・日下課長：民間経営への移行、企画・営業専門部署がない、固定資産が町所有のため、減価償却への意識の低さ等を指摘された。これらの指摘を受けて、会社と町で今後協議していきたい。

③水道課　資料４
・担当課から説明後、質疑を行う。

「公共下水道事業の概要」
・柴田委員：下水道施設のテレビカメラによる調査で、老朽化の激しい部分などが見つかった場合の対応は。
・白木課長：道路が整備済みのため、掘り返して管を交換することは困難と考える。マンホールからの工事など、工法を検討して対応したい。

④建設都市整備課　資料３

・担当課から説明後、質疑を行う。

「道路施設維持管理業務（包括委託）の概要」

・正村委員：１つの業者に全てを一括して委託するのか。

・髙橋課長：数社により組合を組織する予定。市街地、農村部に分けて発注するため、委託契約としては２本になる。

「橋りょう長寿命化修繕工事及び委託の概要」

・柴田委員：今後修繕が必要な橋りょうはどの程度あるのか。修繕計画はあるのか。

・髙橋課長：現在、２６９の橋りょうがあり、5 年に一度の点検により必要なものから修繕を行っている。H26 から 10 年間の修繕計画は持っているが、今後の点検結果により随時見直しとなる。

３　その他

（１）次回委員会開催日程　　平成 27 年３月３日（火）厚生委員会終了後

（２）その他

・齋藤委員：委員会の資料について、精査したものを提出いただけるよう申し入れすべき。

→　委員長より申し入れする。

以上をもって、閉会する。

傍聴者数	一　般　者	３名	報道関係者	０名	合　　計	３名

記載のとおり報告する。

平成２７年２月１７日

経済常任委員会委員長　　常　通　直　人